



玉之浦小
学校は午前
の前半、盈
進小・崎山
小・福江小
の3校と一
緒に参加し
ました。盈
進小に続く



伴奏 純さん



知也さん・未来さん・希美さん



玉之浦
中学校は
午後の前
半、久賀
小中・奥
浦中・崎
山中・翁

11月8日(火)標記の音楽会が福江文化会館ホールで、3年ぶりに開催されました。ただし新型コロナウイルス感染症予防策として、長時間の密を避けるため、午前中に小学校を2部、午後から中学校を2部に分けて、同時に入る子どもたちの人数を制限し、保護者を含めた参

観も取りやめての開催でした。玉之浦小の前半、盈進小・崎山小・福江小の3校と一緒に参加しました。盈進小に続く

2曲目は「地球が教室」の合唱、都々木先生の指揮と橋詰先生の伴奏に合わせて、元気な声が会場に響きました。大きな会場の雰囲気にも飲まれなかつた。3曲目は「鳴子ソラン」、純さんのピアノ伴奏、希美さんの太鼓のリズムをリードし、知也さんと未来さんのソロの歌声、リコーダーや鍵盤ハーモニカ、グロッケン、拍子木などの音色が会場に響きました。踊り手は、はじけるような踊りを披露しました。校歌から鳴子ソランまで、とてもスムーズな流れで、一つの演目として良く構成されてい



伴奏 真心さん



指揮 未来さん



頭中の4校と一緒に久賀小中の和太鼓演奏に続いて、2番手としてステージに上がりました。会場に入る前に「会場に飲まれるか、会場を飲むか? 思いつきやろう!」と声を掛けました。1曲目は「やさしさにつままれたなら」：指揮は未来さん、伴奏は美穂先生。軽快なリズムに乗って、生徒たちの歌声が客席に響きました。2曲目はアンジェラ・アキさんの「手紙」：映画「くちびるに歌を」でもテーマになった合唱曲。伴奏は真心さん、指揮は美穂先生。透き通る女声と安定した男声が、

人数を感じさせないボリュームで見事なハーモニキを聴かせてくれました。曲の後半、しっかりと盛り上げたところで和志さんのソロパート：「負けそうでも泣きそうでも消えてしまえば僕は…」カウンターテナーで静かに雰囲気を整え、一気にエンディングへ：演奏が終わると同時に、大きな拍手が会場を満たし、間違いなく会場の聴衆を飲んでいました。

新型コロナ感染予防のため、分散型の音楽会になりましたが、他校の演奏を直接鑑賞できる機会として大きな刺激になりました。また表現者として多くの観客の前で演奏し、演じる緊張感や高揚感、達成感は特別な経験になりました。

子どもたちの感想：
《小学生》
◆とても面白い声が出ていたと思います。
◆自分もうまく歌えていたんじゃないかと思いません。
◆他の学校のえんそうを聞いて鳥はだ

五島市小中学校音楽発表会

3年ぶりに開催...

玉之浦小中学校だより

灯

(あかり)

第 1 6 号
令和4年11月22日



Youtubeに動画をアップロードしています。QRコードを読み取っていただく視聴できます。

◆全員が自分のパートを一生懸命歌っていた。

◆福江小のミックスナッツの演奏のピアノカ、リコーダーがかるやかに気持ちよくひびいていてすごいと思いました。◆来年もがんばろうと思いました。
《中学生》
◆本番前の練習でも一人一人が声を出し、本番でも同じようにできた。◆今まで練習してきたことを十分に発揮して歌い上げることができた。◆ソロパートが少し遅れたけど、悔いなく歌うことができた。◆日を重ねるごとにハモリもきれいにできるようになって嬉しかった。◆始める前は緊張したけど、みんなが歌っている姿を見ると、とても安心して指揮をすることができた。

防犯等「標語」に協力

五島警察署からの感謝状



中川駐在所の松本所長様から、中学生に防犯等の標語の依頼を受け、夏休みの課題として取り組ませました。標語は、駐在所が発行する「駐在所速報」に掲載していくということで話しは終わっていたのですが、この取組のことが池田五島警察署長様に届き、今回の感謝状の贈呈へと繋がりました。

11月16日(水)池田署長様をはじめ3名が来校され、全校児童生徒で感謝状の伝達式を行いました。



た。中学3年生の颯太さんが代表で感謝状を受けました。感謝状贈呈の後は、松本所長様からの防犯講話があり、「いかのおすし」やネット利用など、子どもたちの身近にある話題で注意を呼びかけていただきました。中学生の自分にもできる地域貢献として、思いが及んでいくことを期待しています。最後は記念撮影を1枚…。

ジュニア俳壇

11月13日(日)長崎新聞に生徒作品が掲載されました。

《秀逸》

○夏の果過去思い出す風景画

3年 出口子母心さん

《佳作》

○秋の月大きな大きな鏡かな

3年 川脇颯太さん

○空染める色どる音色風鈴だ

2年 中山穂乃香さん

○さつまいもいっぱいあって食べきれない

2年 塙 優斗さん

○夏の夜一っだけ光るホタルの輝き

1年 出口清悟さん

秀逸に選ばれた子母心さんの句には、選者から「15才の過去とは何でしょう。物語があります。」との評が添えられています。中学生が俳句の創作に取り組んでいることが、防犯標語を依頼されたことが、今回の表彰の始まりでした。言葉での表現力を磨くために、今後も俳句の取組を継続していきます。

よしなじと

前述の通り、市音楽発表会の午後には、久賀小中学校も出場していました。演目は、久賀小中学校で受け継がれている和太鼓演奏「久(く)が太鼓」「蕨太鼓」でした。現在、久賀中学校の在校生は、すべて島外からの「しま留学生」です。4月から練習を始めた子どもたちも含め、息の合った演奏を披露していました。また11月18日(金)には、長崎市の長崎ブリックホールで長崎県中学校総合文化祭が開催され、五島市代表として市音楽発表会での和太鼓演奏のビデオが上映されました。

話題は変わりますが、「しま留学」について：しま留学とは、親元を離れ、島(島親宅)で生活しながら、学校に通う制度で、五島市内では久賀小中学校と奈留小中学校で取り組まれています。小学3年生から挑戦することが出来る制度で、留学生の多くが物の豊かさよりも自然や人の豊かさを求めて島にやってきました。当然、親と離れて過ごすさみしさや大きな環境の変化など、高いハードルがあります。私自身、久賀小中学校で2年間を過ごし、しま留学生たちと学校生活を過ごし、その辛さや悩みにも接しました。どの子にも、いつかは様々な挑戦が待っているのではないでしょうか、しま留学生として現に挑戦をしている子どもたちが五島市内に在ることを知っていただけたらと思います。

久賀中学校でのしま留学から、五島南高校に離島留学で進学し、3年生になった生徒が2名います。それぞれ卒業の見込みが付き、進路先も実家から通うことができる東京・埼玉に決まりました。出会いから4年、「高校卒業まで面倒を見る」と言った約束が果たせそうです。

あしがき

●朝の冷え込みが厳しくなり、昼間との気温差を感じます。そのためか欠席や通院連絡が少し増えているようです。十分な睡眠、バランスの良い食事、調節のしやすい服装など、体調管理に努めていただきたいと思います。また新型コロナウイルスのこともあり、体調に不安があるときには登校を控え、医療機関の受診をお勧めしています。宜しくお願いいたします。

●次号では、餅つきやロボコン九州大会などの話題を中心にお伝えできればと思います。

●学校ホームページのアクセス数が、3万アクセスを超えました。1日20〜30アクセス程度ですが、情報源としてご利用いただいている方がいることに感謝しています。今後も更新を続けていきます。時々覗いていただけると幸いです。

学校HPへ



覗いていただくと幸いです。